

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分		授業の方法	講義演習
科 目 名	老年援助論Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室・実習室
担 当 教 員	松本幸恵 中村裕子	実務経験と その関連資格	医療施設で看護師として勤務していた			
《授業科目における学習内容》						
老年期にある対象の特徴を理解し、加齢による変化が生活に及ぼす影響を踏まえた上で、高齢者に必要な生活支援を安全に実施する看護援助について学ぶ。高齢者の尊厳と自立の視点を持って生活支援に携わる必要性を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況、筆記試験での総合的な評価。 筆記試験70% 課題30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①専門分野 老年看護学(医学書院) ②専門分野 老年看護 病態・疾患論(医学書院) ③専門基礎分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ(医学書院) ④根拠と事故防止からみた 基礎臨床看護技術(医学書院) ⑤プチナース老年看護 ぜんぶガイド(照林社)						
《授業外における学習方法》						
シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
老年看護学概論で学んだ高齢者の特徴や、加齢に伴う身体機能の変化について復習しておくこと。基礎看護技術で学んだ日常生活援助についても復習し、理解したうえで本授業に臨みましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化の特徴と高齢者の生活の現状を踏まえ、尊厳と自立・自律を支える老年看護の必要性について考えることができる。		テキスト 配布資料	事前課題:老年看護学概論を振り返っておく 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	老年看護学概論のふりかえり 高齢者の生活を支える看護について学ぶ				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の特徴を踏まえ、老年看護におけるヘルスアセスメントの視点を理解することができる。		テキスト① 配布資料	事前課題:テキスト第4章. の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	ヘルスアセスメントについて学ぶ				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の特徴を踏まえ、老年看護におけるコミュニケーションの方法と留意点が理解できる。		テキスト 配布資料	事前課題:テキスト第5章.「コミュニケーション」の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を整える看護 : コミュニケーションについて学ぶ				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の食生活に関する特徴を理解し、食事に関するアセスメントと看護について理解できる。		テキスト 配布資料	事前課題:テキスト第5章.「食事」の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を整える看護 : 食事について学ぶ				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる摂食・嚥下障害の特徴を理解し、アセスメントの視点と看護について理解できる。		テキスト DVD 配布資料 課題シート	事前課題:テキスト第5章.「摂食・嚥下障害」の範囲を読んでおく。 事後課題:課題シートをまとめ提出する
	各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護: 摂食・嚥下障害のアセスメントと看護について学ぶ①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる摂食・嚥下障害の特徴を理解し、アセスメントの視点と看護について理解できる。	テキスト DVD 配布資料 課題シート	事前課題: 前回の授業で分からないことは調べておく。 事後課題: 課題シートをまとめ提出する
	各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護: 摂食・嚥下障害のアセスメントと看護について学ぶ② ー 摂食嚥下訓練・義歯の管理について学ぶー			
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の必要物品、手順、注意点が理解でき、経鼻カテーテルの挿入手技と栄養剤注入の手技が指導の下実施できる。	実習室にて白衣で実施。モデル人形、経鼻カテーテル、イルリガートルなど。演習シート□フレクションシート□	演習までに事前学習・演習シートを記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
	各コマにおける授業予定	経管栄養法について学ぶ			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる排尿・排便の問題を理解し、排泄に関するアセスメントの視点と看護について理解できる。	テキスト 配布資料 課題シート	事前課題: テキスト第5章、「排泄」の範囲を読んでおく。(30分) 事後課題: 授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を整える看護: 排泄について学ぶ 高齢者に特徴的な症状と看護: 排泄障害のアセスメントと看護について学ぶ			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の清潔保持に関する特徴を理解し、清潔に関するアセスメントと看護について理解できる。	テキスト 配布資料	事前課題: テキスト第5章、「清潔」の範囲を読んでおく。 事後課題: 授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を整える看護: 清潔について学ぶ			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる生活リズムの変調を理解し、生活リズムを整えるためのアセスメントと看護について理解できる。	テキスト 配布資料 課題シート	事前課題: テキスト第5章、「生活リズム」の範囲を読んでおく。 事後課題: 授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を整える看護: 睡眠・覚醒の変化と生活リズムへの影響について学ぶ 高齢者に特徴的な症状と看護: 睡眠障害のアセスメントと看護について学ぶ			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の日常生活動作に関する特徴や転倒などの問題を理解し、生活機能に関するアセスメントの視点と看護について理解できる。	テキスト 配布資料	事前課題: テキスト第5章、「基本動作」「転倒」の範囲を読んでおく。 事後課題: 授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を整える看護: 基本動作と環境について学ぶ 高齢者に特徴的な症状と看護: 転倒について学ぶ			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる廃用症候群・フレイルなどの特徴を理解し、アセスメントの視点と看護について理解できる。□	テキスト 配布資料 課題シート	事前課題: テキスト第5章、「フレイルと廃用症候群」の範囲を読んでおく。 事後課題: 授業内容を復習し理解を深める
	各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護: 廃用症候群・フレイルのアセスメントと看護について学ぶ			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる褥瘡の特徴を理解し、アセスメントの視点と看護について理解できる。	テキスト 配布資料 課題シート	事前課題: テキスト第6章、「褥瘡・スキンケア」の範囲を読んでおく。 事後課題: 演習シートをまとめる
	各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護: 褥瘡のアセスメントと看護について学ぶ			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	褥瘡ケアの必要物品、手順、注意点が理解でき、創傷治癒を促進するための処置と予防ケアが指導の下実施できる。	実習室にて白衣で実施。モデル人形、シャワーボトル、石鹸、ガーゼなど。演習シート□フレクションシート	演習までに事前学習・演習シートを記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
	各コマにおける授業予定	褥瘡予防ケアと創傷処置について学ぶ。			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者に多い生活上の課題について、事例を通してアセスメントができる。	実習室にて行う。モデル人形、その他必要物品	演習までに事前学習・演習シートを記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
	各コマにおける授業予定	シミュレーション演習			